

宇部幸楽苑広報紙



幸 楽 苑 だ よ り



9号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和6年 9月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522

BCPについて

看護師 松田 高一郎

皆さま、猛暑の今夏いかがお過ごしでしょうか。ビール好きの私にとつてこの猛暑は最高のビール日和でもあります。

さて本題のBCPについて。今般、よく耳にされる言葉だと思えますが、事業継続計画 (Business Continuity Plan) の略であります。簡単に言いますと企業が災害やテロ等の危機的状況下に置かれても、重要な業務の存続が出来るよう方策を用意し、生き延びるためにしておく戦略を記述した計画書であります。なぜこの話題を取り上げたかと言いますと、先日、宮崎県日向灘沖で発生したM7.1の地震により、初めて南海トラフ巨大地震注意報が発令されました。幸い、一週間の注意報発令期間に次の大きな地震や南海トラフ巨大地震は起きませんでしたが、今一度、備えについて考え直す良い機会であったのではないのでしょうか。

が大前提となります。

勿論、災害はいつ起こるか誰にも分かりませんが、その時どこにいて何をしているかなど運任せみたいな話になります。しかし、その時の為の準備を行う事は自分でどうにか出来る事であり、非常に大切なことだと考えます。一般的に言われる水や食糧、最低限の清潔保持を行える物、電源類を確保しておくことや、避難経路の確認、災害MAPの確認などやれることは多々あると思えます。「備えあれば憂いなし」ですね。まずは「自分の身は自分で守り」、いざという時に自分を立てておくことが大切だと思います。なぜこんな硬い話をするかと思われるかもしれませんが、私一応、なんちゃってリスクマネージャーですのでね・・・我々、人類にとつて巨大地震は恐ろしいものです。地球様にとつては表皮剥離程度の事であり、百年に一回つて一生に一回です。地球様の46億年からみれば年がら年中の事でしょうから起きてしまうのは仕方ないことですね。最後に、昔の人が言われたことはよく当たります。「災いは忘れたころにやってくる」と。しかし「備えあれば憂いなし」です。

《基本理念》

私たちはサービス提供者として、常に、地域社会における入所者様・ご家族並びに利用者の立場に立って考え、最善の行動を致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。

「たこ焼きパーティー」

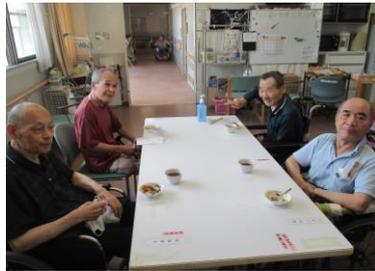
8月21日に、たこ焼きを利用者の皆様に食べました。

普段、思い通りに好きなものを食べられない中で、たこ焼きが食べたい！という声を耳にし、たまには食べさせてあげたい！という気持ちで、食べて頂く事が出来ました。

因みに、飲み込みの安全面を考慮してタコは入っておりません（笑）

しかし、皆様おいしい、おいしいと笑顔で食べておられました。

皆様の笑顔を見るとやってよかったとこちらもうれしい気持ちになりました。



「おもしろき こともなき世を おもしろく 住みなすものは 心なりけり」

介護福祉士 岸本 惣三郎

右のタイトルの句はあまりにも有名な高杉晋作の辞世の句です。意味としては『つまらない世の中を面白くするのは、自分の心持次第だ』と言ったところでしょうか。

人が一番面白みを感じるの『知識欲』と言われるように私たちは新しい発見をするたびに『面白い』という経験をします。しかし、成長をするにしたがつて様々な経験をして知識を広げて深めていくたびに『ですよ。』という冷めた見解しか出てこなくなります。そしてこの世の理を悟っていくたびに、新しい発見に出会わなくなり『面白い』という熱は冷めていきます。

世の中不条理なことや、理不尽なことで溢れています。最近で言えばコロナ禍がそうでした。残念ですがこれらは、自分でコントロールすることは出来ません。だから、ついつい『こういうものだから…』と諦めてしまいがちになります。

しかし、だからこそ、その中で視野を拡げ、視点を変え、捉え方を変えてみることで新たな発見に繋がります。面白さを感じることができるのではないのでしょうか。さあ、今日も『おもしろく』生きていきましょう。